幼児向け

『おいしいおのまとぺ』
高原美和／作・絵
PHP研究所　¥1,320（税込）

チョコレートを割ると「パキパキッ」、ゼリーは「ぷるぷるん」…。おいしそうなお菓子から、どんな音が聞こえてくる？ リアルだが温かみのある絵が目を引く。思わずお腹がぐーっと鳴る、おやつ前の読み聞かせにぴったりの絵本。

『おひげピンピン』
しもかわらゆみ／作
講談社　¥1,540（税込）

ひげが「ピンピン」と伸びたネコの顔から始まり、キツネ、ヤギ、アザラシと、たくさんの動物たちが自慢のひげをとびきりの笑顔で見せてくれる。フサフサのひげや、黒くて長いひげなど、動物による違いも楽しく学べる。

『かけています』
市原淳／作
世界文化社　¥1,485（税込）

コックさんが鍋を火に「かけています」。ご飯にカレーを「かけています」。出来上がった料理を持ち、家を出たコックさんは、ドアに鍵を…。意味の異なる「かける」の繰り返しと、ポップで柔らかなタッチのイラストが楽しい絵本。

『さかなをたべたあとのほね』
かとうやすみ／さく
福音館書店　¥1,100（税込）

魚を食べた後に残る骨の形は、それぞれ異なる。イワシやカレイなどの魚が登場し、調理前の姿、焼き魚や煮付けなどの料理、きれいに食べた後の骨を順番に描く。魚が嫌いな子どもでも、興味が湧いてくる一冊。

『じゃばじゃじゃーん』
柿木原政広／作
福音館書店　¥1,430（税込）

牛乳を「じゃばじゃじゃーん」とこぼしてしまった…。あれれ、牛乳のこぼれた形がイルカに似ている !? こぼれた牛乳の形から見えてくるのは生き物？乗り物？それとも…？想像を膨らませて楽しめる写真絵本。

『ねこきちのてぬぐい』
かとうまふみ／作
講談社　¥1,650（税込）

主人公は、ねこきちといつも一緒の「まめしぼり」。ねこきちの母親が、他の手ぬぐいをぞうきんにし、最後はかまどで燃やすのを見て自分もいずれ灰になるのかとおびえるが…。江戸時代のリサイクルや、物を大事にする心が学べる絵本。

『ほんやくすると』
斉藤倫、うきまる／文　くのまり／絵
ブロンズ新社　¥1,760（税込）

犬と男の子は、男の子が赤ちゃんの頃からいつも一緒。言葉にできない思いや、動物や木々、海や空から届くメッセージを読み解いて「ほんやく」し、心を通わせながら成長していく。犬と男の子の心温まる物語。

『みてみて！』
小西貴士／写真　谷川俊太郎／ことば
福音館書店　¥1,430（税込）

子どもたちの視線の先は、生き物たちであふれている。テントウムシにシャクトリムシ。カエルの卵も見つけたよ。落ち葉もきのこもほら、ここに。小さな手のひらいっぱいに、みんなが見つけた「みてみて !」を写真絵本で届ける。

その他のおすすめの本

『いちにのさん !』
スギヤマカナヨ／作　童心社　¥1,320（税込）

『くだものららら』
金内織恵／作　童心社　¥1,100（税込）

『しろのえほん』
まるめはな／作　丸尾靖子／絵・装丁　童心社　¥1,980（税込）

『すいかのたね』
押本達希／作　ブロンズ新社　¥1,430（税込）

『どうぶつすやすや』
たしろちさと／文・絵　大日本図書　¥1,540（税込）

『はるがきた！いいものいくつ？』
おおたぐろまり／さく　福音館書店　¥1,210（税込）

『ひこうきがしゅっぱつします』
岡田光司／写真　岡田康子／文　文研出版　¥1,650（税込）

『100 ぴきつなひき』
矢野アケミ／作・絵　鈴木出版　¥1,650（税込）

『へんしんみず !』
川村康文、小林尚美／構成・文　遠藤宏／写真　岩崎書店　¥1,540（税込）

『まよなかのおはなしかい』
ギデオン・ステラー／ぶん　チャールズ・サントソ／え　ひさやまたいち／やく　評論社　¥1,980（税込）

『みえないおしごと』
とくながけい／作・絵　中央公論新社　¥1,870（税込）

『もりのあさ』
出久根育／作・絵　偕成社　¥1,980（税込）